

2019年8月30日

報道関係各位

富士山静岡空港株式会社
総合警備保障株式会社

富士山静岡空港 業務効率化プロジェクト第3弾 立動哨自律型警備ロボット「REBORG-Z」国内空港初導入

富士山静岡空港株式会社では、2019年4月から自立した空港運営を開始し、既にお知らせしました道路保守・管理システム、清掃ロボットに続き業務効率化プロジェクト第3弾となります総合警備保障株式会社（ALSOX）の警備ロボット「REBORG-Z」を国内空港として初めて導入することと致しました。

警備業における人手不足対策が重要な課題となる中、今後もALSOXと協力して新技術等を活用し旅客ターミナルビル警備の更なる効率化と高度化を目指します。

【導入ロボットの特徴】

- ① 搭載カメラによる360度の周辺監視が可能。常時録画機能で不審物放置映像等の事後確認も可能。
- ② 超音波センサーやレーザーセンサーなどを搭載し、一般利用客が歩行するパブリックエリアでも精度の高い自律巡回が可能。
- ③ 事前登録データとの照合により不審者や特定人物の早期発見が可能。搭載スピーカーによる不審者等への遠隔操作での注意喚起や警告等も可能。
- ④ 大型ディスプレイを活用した案内機能を強化。日本語・英語・中国語・韓国語で問い合わせの多い情報を的確に提供。
- ⑤ 災害発生時には事前登録した音声と大型ディスプレイへの表示にて4か国語による緊急避難告知が可能。

【警備ロボット「REBORG-Z」の概要】

- ・ 本体寸法： 700mm×700mm×1530mm
- ・ 重量 180kg
- ・ 速度 最大4.6km/h
- ・ 登坂角度 ±5度
- ・ 連続走行時間 2時間
- ・ 充電時間 1時間
- ・ 充電方法 接点接触式自動充電



REBORG-Z

<本件に関するお問い合わせ先>

富士山静岡空港株式会社 0548-29-2211 担当：空港運用部 運用企画ユニット